

## ■ 平岡地区 プラムちゃんるーむ

### 概要

「プラムちゃんるーむ」は、子どもを遊ばせながら、親同士や支援者・高齢者・中学生との交流を図ることができる「子育てサロン」です。保育園入園前の幼児を対象に、毎月1回、第1火曜日午前10時から平岡中学校の1階多目的室で開催しています。世代間の交流を深めることによって、命の大切さや地域のつながりを考える場にもなっています。中学校を会場に子育てサロンを行っているのは清田区ではここだけで、札幌市全体でもほかに2カ所しかありません。地域、学校、生徒が協力し合いながら進めている、とても貴重なサロンとなっています。



### 設立までの背景と経緯

#### 1 背景

平岡地区は清田地区の中でも年少人口の割合が高く、子育て中の若い世帯や核家族が多い地域となっています。また、マンションがたくさんあり、他区・他都市からの転入も多い地域でもあります。このような地域特性から、平岡地区では親子の集える場所や、近隣の親子同士が知り合う機会が少ないため、子育てに対して不安やストレスを感じている親が多い状況となっていました。

平岡児童会館では「子育てサロン」を開催していましたが、広い平岡地区では平岡児童会館まで通うことが困難な家庭も多く、他の場所でも「子育てサロン」の開催が強く望まれていました。

#### 2 「プラムちゃんるーむ」が出来るまで

平成15年に、区役所からの働きかけを契機に「こうめちゃんサロン」を設立し、平岡地区会館で毎月1回開催していましたが、平成18年度に区役所が実施した「わくわく子育てセミナー」において、子育て家庭の状況を把握するためのアンケートを行った結果、平岡地区の南側においても、「子育てサロン」を開催してほしいといった要望が、子育て家庭から多く寄せられました。

このことを受け、地区福祉のまち推進センター運営委員会や平岡地区の民生委員・児童委員協議会、子育てボランティアが、平岡地区の南側にも「子育てサロン」を開設しようと一体となって準備を進め、地域主体の子育てサロンである「プラムちゃんるーむ」を、平成19年2月から平岡東町内会館で新たに開催することができました。

### 3 平岡中学校への移設

当初、「プラムちゃんるーむ」は平岡東町内会館で開催していましたが、サロンに通っている若いお母さんたちの多くが平岡中学校の周辺に居住していたことがきっかけとなり、みんなが通いやすい平岡中学校にサロンを開設できないだろうかと平岡中学校に提案を持ちかけました。

提案を受けた学校側は、当時の校長先生の「地域に学校を開くことを大切にしたい。最優先に考えたい。」という思いもあったことから、平岡中学校内でのサロン開設に理解を示し、協力することとしました。

こうして地域のスタッフと学校側とでサロン開設に向けて何度も話し合いを重ねた結果、平成19年6月からは、「プラムちゃんるーむ」の場所を平岡中学校に移して開催することができました。



「プラムちゃんるーむ」では、絵本の読み聞かせや手遊びのほか、就学前の子どもが楽しめる遊具を用意し、自由に遊んでもらっています。また、子どもたちが遊んでいる間に、親同士や支援者が交流を深めており、その場にいるみんなが一緒になって、楽しい空間をつくりあげています。

学校の休み時間になると、中学生がサロンに顔を出して、赤ちゃんをあやしてくれたり、ボール遊びなどを手伝ってくれたりしています。また、学校の先生方もサロンの様子を見に来ています。

このように、「プラムちゃんるーむ」は、地域・学校・生徒に支えられ、安心して子育てができる、とても温かい雰囲気の子育てサロンとなっています。



**連絡先**

平岡地区福祉のまち推進センター 電話 883-7100

## ■ 清田中央地区地域安全パトロール隊

### 概要

清田中央地区内の町内会をはじめとした多くの団体と700人を超えるボランティアにより、子どもたちを中心とした地域全体の安全を守る活動を行っています。平成6年から活動を開始し、数度にわたる組織改編を経て、平成21年に「清田中央地区地域安全パトロール隊」へと発展しました。

### 構成メンバー（平成22年度）

清田中央地区町内会連合会、単位町内会、民生委員児童委員協議会、青少年育成委員会、老人クラブ協議会、子ども会、清田団地商店街協同組合等 40団体 ボランティア735人



子どもたちの安全を守る登下校時の見守り



地区内の新聞販売店の協力も

### 経緯・変遷

#### 第1章～「地域の子どもをはぐくむ会」（平成6年）

平成6年、地区内に船券売り場やテレホンクラブの建設が計画されました。これをきっかけに、地域の風紀を守るために地区として何ができるか考え、青少年健全育成関係の4団体〔町内会連合会、清田中学校地区関係小・中学校連絡協議会（四校連）、青少年育成委員会、民生委員児童委員協議会〕で、「地域の子どもをはぐくむ会」を設立しました。一致団結して反対・中止の働きかけを積極的に行った結果、船券売り場の建設中止、テレホンクラブの閉鎖に結びつくなど、非常に大きな成果を上げることができました。連携・協力することの重要性を実感し、その後、これまで独自に行っていた地域内パトロールを4団体合同で実施することとしました。

#### 第2章～「清田中央地区児童・生徒事故防止協議会」通称「守る会」（平成9年）

平成9年、神戸市で起きた小学生の連続殺傷事件に衝撃を受けたことを契機に、青少年の健全育成に直接かかわる団体だけでなく、地域全体で事件・事故の未然防止に取り組むことの必要性を強く認識しました。そこで、老人クラブ協議会、清田団地商店街協同組合、豊平警察署、豊平警察署少年補導員会などの参加を得て「清田中央地区児童・生徒事故防止合同協議会」（通称「守る会」）を設立しました。広報紙や不審者情報を発信し情報の共有を進めたほか、不審者発生立て看板の設置、広報車による定期パトロールなど、活動の幅を広げていきました。

### 第3章～「地域防犯パトロール隊」(平成17年)

平成17年、これまでの団体での活動だけでなく、多くの住民が活動に参加することを目的に住民のボランティア登録を開始し、「地域防犯パトロール隊」へと組織を改編しました。平成18年からは、子どもたちの登下校を地域住民で見守る8・3運動を開始しました。

### 第4章～「地域安全パトロール隊」(平成21年)

平成21年、町内会連合会だけでなく全町内会・自治会が参加し会長が活動を把握できるようにし、また、複数あったボランティア登録を一本化し分かりやすくするなど改善し、現在の「地域安全パトロール隊」へと改組しました。多くの団体、活動者に支えられ、地区全体で地域の安全を守っています。

## 主な活動

#### ●「こども110番の家」看板設置促進

平成11年に、清田中央地区が札幌市で初めて、こども110番の家の看板設置に取り組みました。開始当初は80軒、現在では593軒に黄色い看板が掲げられています。



#### ●8・3運動

子どもたちの登校時(午前8時)と下校時(午後3時)に、地域のボランティア登録者による見守りを行い、事故や事件から子どもたちを地域全体で守る活動を行っています。



#### ●危険カ所マップの作成

平成17年に地区内の危険カ所を載せたマップを作成しました。その後、平成20年に各町内会であらためて危険カ所をチェックし、新しいマップを作りました。このマップに載っている危険カ所をすべてなくすることを究極の目標に、日々の活動を行っています。



このほかにも、小学校の集団下校訓練への帯同や、防犯パトロールなどさまざまな活動を行っています。また、地区内の新聞販売店のご協力のもと、配達員さんが朝刊・夕刊の配達をする際、必ずパトロール隊のユニフォームを着用してもらうなど、知恵と工夫を重ねながら、清田中央地区の安全の確保に、地域一丸となって努めています。

#### 連絡先

清田中央まちづくりセンター 電話 884-7187

## 里塚・美しが丘地区子どもを見守る会

### 概要

地域の子どもにかかわる団体が横断的なネットワークを組織し、連携を図ることにより、地域住民ぐるみで子どもの健やかな成長を見守り、はぐくんでいくまちづくりを進めることを目的に活動を進めています。

主催（事務局）：里塚・美しが丘地区青少年育成委員会

参加団体：地区町内会連合会、各单位町内会、地区福祉のまち推進センター、地区民生委員児童委員協議会、清田区交通安全指導員会里・美支部、豊平警察署少年補導員連絡協議会里美支部、清田区保護司会里塚分区、小・中学校、小・中学校PTA、幼稚園、児童会館、地区センター、交番、行政等 62 団体

### 経緯・変遷

#### 「青少年を見守る会」として発足（平成 12 年）

平成 12 年 7 月、里塚・美しが丘地区青少年育成委員会主催で、町内会を中心とする地域関係者が集まり「青少年を見守る会」が開催されました。（15 町内会、7 小中学校、3 団体・行政が参加）

この会は、安全安心なまちづくりと青少年育成のための活動について意見交換を行う場として開催され、出席者からは、不審者・変質者などの出没があり、その対応に苦慮しているといった意見や、夏休み中の夜間防犯パトロールに取り組んでいる町内会などの情報交換、また、豊平警察署からは「地域での声掛けが大事」とのお話があり、今後もこの会を継続していくことを確認しました。

翌年には、町内会連合会、民生委員児童委員協議会など地区の青少年問題にかかわる団体にも参加いただき、意見交換を行いました。

#### 「子どもを見守る会」へ改称（平成 14 年～）

平成 14 年には、青少年に限らず乳幼児などの子育て問題を含め、子どもたちが健やかに育ち、不幸な事件や事故にあわないような環境づくりをめざした活動を展開していくことが確認されたことから、同年 7 月に「子どもを見守る会」と改称し、現在に至っています。



青少年を見守る会（平成 13 年 7 月）



## 主な連携事例

### ● 情報交換会「子どもを見守る会」

平成 12 年の会の発足以降、毎年夏本番を迎える 7 月に開催しています。区少年育成指導員からの巡回指導報告や参加団体の地域活動報告、子ども関連の講義を通じ、子どもの安全確保や見守り運動などについて情報の共有、意見交換を行っています。

会の最後には、その年のテーマとなる標語（平成 22 年度は「子どもたちの笑顔を守ろう地域の愛」）を決定し、新たな決意で活動しています。



### ● 青色回転灯搭載車によるパトロール

平成 19 年の「見守る会」情報交換会で、豊平警察署から青色回転灯搭載車による防犯パトロール隊の編成について依頼があり、同年 10 月、4 台体制の「青パト隊」が発足しました。小中学生の登下校時間帯を中心に巡回しているほか、不審者情報があった場合にも事案発生場所周辺の巡回を行うようにしています。平成 21 年 7 月からは 6 台に増強され、よりきめ細かにパトロールすることが可能となりました。



### ● 「こども 110 番の家」運動

平成 14 年から「こども 110 番の家」の登録運動を進めており、地域企業等も含め約 600 軒に登録いただいています。協力いただく方に対しては、警察に伝達すべき項目等を記載した「情報通報マニュアル」を作成し、事件や事故発生時の対応に備えています。

また、里美ふれあいクラブとの連携により、「里・美さぽーとマップ」に 110 番の家プレートの設置場所情報を新たに掲載し、地区内の全世帯に配布しています。



地域ではボランティアや各関係団体の皆さんによって、日々地道な活動が行われています。これからも、将来を担う子どもたちが不幸な事件や事故、虐待にあうことがないよう、地域の皆さんとのネットワークを密にして、里・美地区が「子どもの笑顔輝くまち」となるよう、活動を続けていきたいと考えています。

#### 連絡先

里塚・美しが丘まちづくりセンター 電話 884-1210

## ■ 清田区スポーツネット

### 概要

清田区内のスポーツ愛好者が連携を深め、清田区のスポーツ振興を図るとともに、将来的には、札幌市スポーツ振興計画でうたわれている「総合型地域スポーツクラブ」の創設をめざし、平成 20 年 6 月に設立しました。

### 構成メンバー

清田区体育指導委員会、清田区体育振興会連合会、町内会連合会体育部、各競技団体、スポーツボランティア、清田区青少年育成委員会連絡協議会、清田区子ども会育成連合会、清田区体育館・温水プール、スポーツ愛好者



### 経緯・変遷

#### 第 1 章～「総合型地域スポーツクラブ特別委員会」(平成 16 年)

国のスポーツ振興基本計画（平成 12 年策定）では、生涯スポーツ社会の実現に向け必要不可欠な施策として「総合型地域スポーツクラブ」の展開が挙げられ、札幌市スポーツ振興計画（平成 15 年策定）においても、基本施策実現に「総合型地域スポーツクラブ」の必要性や支援がうたわれました。

これを受けて、清田区体育指導委員会では、「総合型地域スポーツクラブ」への理解を深めるため、区内スポーツ関係団体やスポーツ愛好者を対象に「清田区スポーツ講座」を開催。平成 16 年には、清田区体育指導委員数名により「総合型地域スポーツクラブ特別委員会」を設立し、清田区において「総合型地域スポーツクラブ」を展開する上での問題点、取り組みなどについて話し合いを重ねました。

#### 第 2 章～「スポーツ関係者及び団体等による懇話会」通称「スポーツ懇話会」(平成 17 年)

平成 17 年、「総合型地域スポーツクラブ特別委員会」の中で、清田区内でスポーツ活動をしている、いわゆるスポーツ関係者が、互いに理解を深め情報交換をすることにより、区民がスポーツを楽しめる環境をつくっていくことが必要であるとの考えから、区内スポーツ関係者から成る「スポーツ懇話会」を開催しました。

この「スポーツ懇話会」では、体育指導委員や体育振興会の活動内容、スポーツ施設の現状、総合型地域スポーツクラブについて、学校の部活動について、各スポーツ団体が抱えている課題及び解決策について等、活発な討議が行われ、「スポーツ」という共通のキーワードにより各団体の連携を深めるきっかけとなりました。

### 第3章～「清田区スポーツネット」(平成20年)

平成20年3月の「第6回スポーツ懇話会」において、これまでのスポーツ懇話会を通してできた各団体間の横のつながりをもって、清田区のスポーツ振興を図るとともに、各スポーツ団体が抱える課題解決に向け、具体的な行動を起こす新たな会を設立することが決定しました。

これを受けて、平成20年6月、スポーツ懇話会の発展形である「清田区スポーツネット」が設立されました。この会は、「見るスポーツ」「支えるスポーツ」の観点から、競技関係者に限定せず、清田区青少年育成委員会連絡協議会、清田区子ども会育成連合会の参加も得られたことから、幅広い意見交換、情報収集、連携協力が可能となりました。

#### 主な活動

##### ●「スポーツ団体が抱える課題の解決」(ソフトテニス)

清田区にはクレートコート(土のコート)がないことから、清田区へ働きかけるとともに区内を調査し、平岡中学校テニスコートの目的外使用(平成21年)を経て、平成22年度から清田南地区体育振興会の協力を得、学校開放事業により平岡中学校テニスコートが利用可能となりました。これは、中学校のテニスコートが、自主管理方式(地域住民が構成する「体育振興会」が管理)による学校開放事業として、札幌市で初めて適用になった事例です。



平岡中学校テニスコート

##### ●「スポーツガイド」の作成及び清田区役所HPでの広報

区内スポーツ施設の紹介、区内スポーツ関係団体の活動内容を掲載した「清田区スポーツガイド」を2年ごとに作成しています。(次回は平成24年度発行予定)



また、きよた Fan 倶楽部(清田区役所のHP)に区内スポーツ関係団体の活動内容を掲載し、随時更新しています。

##### ●「スポーツ講演会」の開催

平成23年2月に、札幌国際大学の国田教授を講師に招き、「スポーツと体のカラクリ」と題して講演会を開催しました。

##### ●「スポーツフェスタ in 白旗山」への協力

平成22年10月、「スポーツフェスタ in 白旗山実行委員会」が軽スポーツを楽しむイベントを開催しました。



スポーツフェスタ in 白旗山

各スポーツ団体がスタッフとして各コーナーの運営に協力しています。

#### 連絡先

清田区地域振興課(事務局)

電話 889-2400(内線 254 ~ 256)



## ■ スポーツフェスタ in 白旗山

### スポーツフェスタ in 白旗山開催までの経緯

平成 19 年、清田区 10 周年記念事業の一環として、10 月 8 日（体育の日）に、清田区の緑とスポーツのシンボルである白旗山で、記念植樹とスポーツイベントを合わせた「白旗山フェスティバル」（スポーツフェスタ in 白旗山の前身）が開催されました。

10 周年記念事業としての位置づけから、当初は単年度限りの予定でしたが、清田区のシンボルの一つに「白旗山」が選定されたことから、区民への白旗山の魅力の PR 及び白旗山にかかわる団体の活動の底上げ並びに当該団体の一体感を生み出し、白旗山の魅力向上につなげることを目的として、当面の期間、継続開催することに決めました。

また、平成 20 年 6 月に「清田区スポーツネット」が設立されたことにより、多くのスポーツ関係団体がスタッフとして参加しました。

平成 21 年まで 3 回開催し、好評を博した「白旗山フェスティバル」でしたが、当初の目的がおおむね達成できたことから、区の主催事業としては 21 年度を最後とする方針を固めました。

しかし、白旗山フェスティバル実行委員会の有志の中から、スポーツ系を中心にぜひ存続させてほしいとの声が上がリ、また、白旗山競技場を所管している（財）さっぽろ健康スポーツ財団からも、力を入れて取り組みたい旨の意向が示されたことから、運営を行政から地域住民へバトンタッチして継続することとしました。

名称も新たに「スポーツフェスタ in 白旗山」とし、地域の有志から成る実行委員会が立ち上がり、平成 22 年 10 月 11 日（体育の日）に「第 1 回スポーツフェスタ in 白旗山」が開催されました。



ミニサッカー大会



キックターゲット

### 実行委員会の概要

#### 取り組み

積極的な協賛依頼を行うことにより資金を確保するとともに、地域の人脈、培われた信頼関係により、地域主導のイベントに対する理解を得て、地域をあげて取り組む機運が高まりました。実行委員会は何度も会議を重ねて準備を進め、当日は多くのボランティアの協力を得て、まさに地元手作りでイベントを運営しています。

#### 構成メンバー

清田区町内会連合会連絡協議会、清田区体育指導委員会、清田区青少年育成委員会連絡協議会、清田区体育振興会連合会、（財）さっぽろ健康スポーツ財団、清田 Hi 遊会

## 主な実施内容

### スポーツ系

- ・キックターゲット
- ・ストラックアウト
- ・ディスクターゲット
- ・スナッグゴルフ

以上の種目はスタンプラリー形式とし、4 種目制覇者には景品を贈呈しました。

- ・区内サッカー少年団によるミニサッカー大会

11 チームが参加し、家族の応援を背に熱戦を繰り広げました。

- ・広瀬哲朗さん（元日本ハムファイターズ）から学べる少年野球教室

区内少年軟式野球連盟加盟の 11 チーム及び区内で活動している 1 チームから、5・6 年生約 150 人が参加しました。

- ・玉入れ
- ・フリースペース（輪投げ、ロデオ等）



ストラックアウト



少年野球教室

### 自然系



白旗山ハイキング

- ・白旗山ハイキング

夏ごろから熊の出没が散見され、予定のコースが立ち入り禁止区域となってしまったため、競技場周辺をハイキングしました。



カミネツコン製作

- ・カミネツコン製作

一般参加者用とは別に、野球のバットの材料になる「アオダモ」の苗を少年野球チームが植樹しました。



キノコ展

- ・キノコ展

たくさんの食用キノコ、毒キノコの実物やパネルの展示も行い、季節がら来場者から真剣な眼差しが注がれていました。

### 連絡先

清田区地域振興課

電話 889-2400（内線 254 ~ 256）

